



よこすか市議会だより

No. 37

令和2年(2020年) 8月14日号

YOKOSUKA CITY COUNCIL

〒238-8550 横須賀市小川町11番地 ☎046(822)9394 [市議会事務局議事課]

横須賀市議会

検索

pd-ccs@city.yokosuka.kanagawa.jp

発行 横須賀市議会
編集 広報広聴会議

新型コロナウイルス対応への臨時議会開催



横須賀PCRセンターを視察しました(横須賀市救急医療センター駐車場)



4月及び6月臨時議会

令和2年4月30日及び6月1日に臨時議会を開催しました。2度の臨時議会では約474億円の増額補正を審議の上、可決しました。

4月臨時議会では新型コロナウイルス感染症緊急対策基金を創設するための条例改正や感染症の拡大防止及び市民生活・経済等への影響に対する支援策を実施する経費の増額補正を行いました。

また、6月臨時議会では感染拡大防止対策の支援や雇用維持と事業継続の支援、地域活動の回復支援、GIGAスクール構想の早期実現に対する環境整備を実施するために必要な経費の増額補正を行いました。

令和2年招集議会

5月14日には招集議会が開かれ、副議長をはじめとする議会内役職の選出、議会運営委員や各常任委員の選任等を行いました。

6月定例議会

6月9日から25日まで定例議会を開催しました。令和2年度の一般会計補正予算(第3号)をはじめとした議案25件、請願1件、陳情3件等について審議しました。

本会議では執行機関に市民生活の再建に向けた業務に注力してもらうため、一般質問を行わないこととしました。あわせて、本会議及び常任委員会では関係理事者のみの出席とし、委員会は部局別審査としました。

また、本市議会では新型コロナウイルスへの感染症対策など緊急な対応を要する地方自治体に対しての地方財政の充実・強化を求める意見書を含む計3件の意見書を国に提出しました。

感染症対策のため避難所にテントや体温計等を整備

新型コロナウイルスの感染拡大状況及び第二波到来の可能性を踏まえ、災害時避難所内でのクラスター感染等防止のため、避難者同士の間隔を確保し飛沫感染を防止するためのテント、検温を行うための体温計及び暑さ対策のためのスポットクーラーを整備する議案を審査しました。

主な質疑

問 テントはどのように使用する予定なのか。
答 体育ホールなどの大きな部屋に一定の間隔を空けて設置し、避難者に入っていたかどうかと想定している。家族単位を想定

しているが、テントの中が過密にならないよう、できる限り調整していきたい。

問 発熱や咳などコロナウイルスに感染している可能性のある避難者への対応は。
答 和室などの別室に隔離するなど、厚生労働省の見解や、保健所等と意見交換し、対応策を決定したい。

問 テントを更衣室や授乳室、診察室等の用途へ活用する考えは。
答 完全な個室になる屋根付き仕様のものを選択したので、他の用途にも使用できると考えている。

プレミアム付商品券の発行

新型コロナウイルス感染症収束後の市内経済の復興を促進するため、プレミアム付商品券を発行する補正予算案を審査しました。当初案としては、小型店のみで利用できる650円券×12枚

主な質疑

問 650円や550円という単位は、買い物をする市民や、換金をする事業者にとって、使いづらい。全部500円券にする制度設計もありえたとおっしゃいますか。
答 プレミアム率をわかりやすく掲載する形で考えていたが、今後最終案を固めていきたい。



商品券イメージ

物品	場所
テント(820張)	コミュニティセンター・体育会館
体温計(44個)	
スポットクーラー(12基)	空調設備のない北・南・西体育会館に各4基

※数量は予定数



購入予定と同型のテント

る市内の小規模店舗での利用を促進するという意味でも、意図がわかりやすい名前にするにも検討するべきではないか。
答 例えば店舗応援券のようなネーミングについては検討していきたい。
※委員会での質疑を受けて、その後、内容が変更になりました。名称は「よこすか「地元のお店」応援券」となり、小型店のみで利用できる500円券×16枚プレミアム率33%、大型店でも利用できる500円券×9枚(同率12.5%)のセットとなりました。

「新型コロナウイルス感染症 緊急経済対策」に関連した支援策等



「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」として、個人向け生活支援や妊婦・事業者（医療・介護・障害福祉サービス・学校・放課後児童クラブ等）への感染拡大予防、横須賀PCRセンターなどの医療体制の強化、小中学校における新たな生活様式への対応など、多岐にわたる追加支援を行う議案を審査しました。

主な質疑

問各種支援に係る助成を迅速に行うための申請手続き簡略化等の工夫は。答児童手当受給者への臨時特別給付金は、希望しない場合だけ申出書を

送っていたたく形にした。施設等の感染対策物品等の購入費補助についてもなるべく簡潔に申請できる書式を用意し、メールでのやり取り等も進めていく。また、社会福祉協議会が行う収入減少世帯への緊急小口資金の貸付は、郵送での受付も可能となった。

問ひとり親世帯等臨時特別給付金におけるスケジュールと収入減少に関する基準は。答市のHPに詳細を掲載

するが、児童扶養手当受給者への基本給付金は申請不要。収入減少世帯への追加給付分については該当者に案内を送付する。申請受付から2週間程度で支給予定。収入減少に関する基準は設けず、自己申告となる。

デジタル技術の徹底活用による行政サービスの見直し

投資効果の高い新たなICT利活用として、3つの事業案が提出され審査しました。①市立学校が消耗品等を購入する際の支払い事務の効率化、RPA（ソフトウェア型ロボット）による代行・自動化）の導入による自動

主な質疑

問キャッシュレス決済で取り扱う電子マネーは。答楽天Edyと交通系電子マネー（Suica、PASMO等）を予定している。

問キャッシュレス決済の推進は、窓口サービス課と役所屋中央店以外でも



関への患者移送及び感染リスクへの対策は。答民間救急会社で対応が難しいケースでは、本市救急隊員が感染症対応装備の上、ストレッチャー等で迎えに行くような仕組みは相談できている。一方で、患者のプライバシーにも十分配慮するよう工夫をしていく。

問ひとり親や家庭で介護をしている方がPCR検査で陽性、入院となった場合に、残された子ども、要介護者への対応は。答子どもについては、まずうわまち病院にて一時保護してもらおう体制をとっており、2週間の経過観察後本市の一時保護所に移動する。要介護者については、4月末現在、

訪問介護・看護でカバーしてもらおうよう事業者と調整中（注：6月末現在、訪問事業者と調整済み。在宅が難しい場合は市民病院で受け入れ、2週間経過後は老人福祉施設のショートステイへの切り替えを調整）。

問放課後児童クラブが午前中から特別開所することにより、支援員の給与収入が扶養の範囲内に収まらなくなる可能性がある。受け入れ体制を確保する観点から国への対応申し入れが必要では。答特別措置を国に取っていただきたいというのが現場の思い。年末までには何らかの措置があるよう、様々な機関を通じて要望していきたい。

県立大学駅自転車等駐車を隣接地に移転整備



県立大学駅自転車等駐車場は、地権者と賃貸借契約を締結し、平成16年5月に開設されました。このたび、ビルが建設されることとなったため、同地権者が所有する隣接地に移転整備する議案を審査しました。令和2年7月に工事開始、同年9月に供用開始の予定です。

主な質疑

問工期が短いがどのような工事か。答舗装工事を主とし、照明設備、フェンス、駐輪ラックの設置を行う。かなり短期間だが、地権者

の意向でビルを建設する期日が決まっており、2か月で行う必要がある。問移転することで敷地が狭くなるが、駐車可能台数は。答現在の駐車可能台数は244台で、利用数は100台程度。定期利用者は今後も利用されると思うので、移転先においても現在の定期利用者数である自転車47台・バイク26台は確実に確保する。

長井海の手公園機能拡充事業へのParkiPFI導入

長井海の手公園（ソレイユの丘）の管理運営方法として新たにParkiPFI（公募設置管理制度）を導入し、既存公園とその隣接地を活用して一体的に整備する議案を審査しました。ParkiPFIは、公園利用者の利便性向上に資する公園施設（飲食店・売店等の収益施設を設置し、生まれる利益を活用して園路、広場等の施設内整備・改修等を一体的に行う事業者を、公募で選定する仕組みです。収益を上げる民間事業者のノウハウを活用し、より良い公園づくりを目指すものです。今回、ParkiPFI

主な質疑

問ParkiPFIの事業期間20年間に起こりうる社会情勢の変化への対処はどのように行うか。答事業者は20年間を見越して事業性・採算性を考慮し提案されるはずだが、20年間という長期であるため、ニーズに合わせた見直しが必要であり、市としても様々な提案・相談をするかもしれない。

問1年間は整備工事の期間だが、公園利用者や現指定管理者への影響は。答主な工事は隣接地や崖地部分を想定しているが、既存公園への影響もある。場合によっては冬の来園者の少ない時期に全面閉園し、工事を可能にする可能性も考えられるが、利用者への十分な周知と、現指定管理者との調整・協力は確実にを行う。

経年劣化した救助工作車、消防ポンプ車、高規格救急車を更新

経年劣化により消防活動に支障をきたす恐れがある車両のうち、救助工作車（1台）、消防ポンプ車（2台）、高規格救急車（3台）を車両更新計画に基づき、それぞれ更新する議案を審査しました。他に油圧ジャッキ、発電機、エンジンカッター、ストレッチャー等の搭載資器材も更新されます。

主な質疑

問電気を使用する資器材の電源として、ハイブリッド車や電気自動車等の検

討は。答各メーカーは、特殊車両について研究開発を行っている。各社の動向を注視し検討していきたい。問工作車などに搭載されている装備品を流用する考えは。答装備品の耐用年数は約10年で、メンテナンスや修理をしながら15年使用しており、安全性の面から流用は考えていない。問更新する工作車やポンプ車、救急車を発展途上国等に提供する考えは。答ポンプ車と救急車は、



救助工作車（レスキュー車）

非常用や車検時の代車として備えておく。また、一部の救急車と工作車については、日本外交協会から譲渡依頼があり、現在調整している。一方、ポンプ車については、消防庁の補助金を使用しているため、譲渡は困難である。

新型コロナウイルス感染症対策に 市民の声を反映

新型コロナウイルス感染症に係る市の対策や市議会の対応について協議を集中的に行うため、新型コロナウイルス感染症対策検討協議会（以下、協議会）を設置しました。私たち議員はこのコロナ禍において、不安や疑問など、市民の皆様から様々な声を伺ってきました。この協議会では、市民の皆様からのご意見などをもとに、各党派や無党派議員から市に対して要望したい事項を募り、それらを協議会の中で協議し、市の執行機関へ確認や要望を行ってきました。これまでに累計90項目以上にわたり、要望・確認事項をあげています。市議会ホームページにこれまでの市議会からの要望・確認事項は掲載されています（下記QRコード①参照）。また、この協議会はインターネット中継も行っていますので、そちらもご覧いただければ幸いです（下記QRコード②参照）。これまで協議されてきた内容は、非常に多岐にわたるためここでは紹介できませんが、一部を紹介いたします。

①相談窓口をわかりやすく周知すること②生活福祉資金貸付の入金を迅速化すること③苦学生など仕事を失った方への緊急雇用対策を検討すること④保育園及び学童保育の登園抑制の現状の確認⑤高齢者の孤立や孤独感を解消する取り組みの確認⑥学校におけるオンライン授業のスケジュールを示すことなどを、要望・確認事項としてあげてきました。

これに対し、①ホームページや新たにLINEも活用し、わかりやすく情報提供する②市からの補助金増額により受付体制は強化されたが、入金までの日数については課題が残るため引き続き改善を県社会福祉協議会に求めていく③夏季ごみ収集業務や国勢調査員の募集をしている。さらに従事できる業務があるか検討する④平均利用率は35%程度に抑えられた⑤地域包括支援センターや民生委員のお力をお借りして、電話や玄関先までの訪問を行うなど工夫している⑥教育委員会ホームページに「家庭学習応援コーナー」を掲載している。今後国の補助制度を活用し、GIGAスクール構想の加速化を行っていく、との回答がありました。

緊急事態宣言は解除されましたが、今後は、これまでの対応における課題・問題点を分析し、より効果的な対策を講じておくことで第2波に備えて万全な体制を整えるため、検証を行う必要があります。そこで協議会では検証を行うべき事項を選定し、市へ検証状況を確認しています。

新型コロナウイルス感染症の収束はまだ見通せない状況です。感染拡大を防ぎ、市民の皆様が安心して日々の生活を送れるよう、引き続き議会一丸となって、新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでまいります。



QR-①



QR-②



新型コロナウイルス感染症対策検討協議会の様子

歯の健康に関する条例を制定

「横須賀市歯及び口腔の健康づくり推進条例」が可決され、令和2年10月1日から施行されます。課題選定から条例案策定まで議会全体で取り組んだ条例としては2例目となります。

虫歯及び歯周病に代表される歯科疾患は、その発病、進行により欠損や障害が生じ、その結果として歯の喪失につながるため、食生活や社会生活等に支障をきたすとともに、歯周病が全身の健康に影響を与えるものとされています。本条例は、市民自らがその意義を自覚し、取り組むことによって、生き生きと元気に過ごせるようにすることを目的と定め、市民の自主的な取り組みを促進することを基本理念としております。

本市においては、高齢化率が全国平均を上回るなど、高齢化が進展して

令和2年招集議会

招集議会では、議会内役職者の選出と議会運営委員会及び常任委員会の委員の選任を行いました。

議長あいさつ

今回のコロナという未曾有の危機は、私たちの生活や地域経済を直撃しています。市民の命と暮らしを守るため、横須賀市議会では「新型コロナウイルス感染症対策検討協議会」をいち早く設置し、様々な提案をするとともに、今後想定される第2・3波に備え、すでにその検証作業に着手しました。「ピンチはチャンス」。社会を変える絶好の機会と捉え、今後も議会一丸となってこの難局を乗り越えるため、全力投球してまいります！



議長
板橋 衛 (留任)

副議長あいさつ

新型コロナウイルス感染症がまだまだ多くの市民や市内経済に多大な影響を及ぼしています。今こそ議会も一丸となってこの危機を乗り越え、経済活動の速やかな再開や、新たな生活様式の推進など、課題解決につなげて参りたいと存じます。

凶らずもこうした時期に重責を仰せつかることとなりましたが、副議長として議長を補佐し、円滑な議会運営に努め、その職責を果たしてまいります。



副議長
渡辺 光一

その他の議会内役職者

- 監査委員 西郷宗範 (留任) 嘉山淳平 (留任)
- 神奈川県内広域水道企業団議会議員 土田弘之宣
- 神奈川県後期高齢者医療広域連合議会議員 小幡沙央里

議会運営委員会

- 委員長 土田弘之宣
- 副委員長 西郷宗範
大貫次郎、田中洋次郎、田辺昭人、竹岡 力、加藤ゆうすけ、小幡沙央里、長谷川昇、石山 満

予算決算常任委員会

- 委員長 渡辺光一
- 副委員長 土田弘之宣
このほか、議長を除くすべての議員が委員となります。

総務常任委員会

- 委員長 土田弘之宣
- 副委員長 小幡沙央里
西郷宗範、大野忠之、加藤眞道、堀りょういち、角井 基、石山 満、井坂 直、小林伸行

生活環境常任委員会

- 委員長 田中洋次郎
- 副委員長 関沢敏行
渡辺光一、青木秀介、葉山なおし、工藤昭四郎、伊関功滋、藤野英明、はまのまさひろ

教育福祉常任委員会

- 委員長 高橋英昭
- 副委員長 大貫次郎
南まさみ、青木哲正、竹岡 力、永井真人、川本 伸、本石篤志、ねぎしかずこ、小室卓重

都市整備常任委員会

- 委員長 山本けんじゅ
- 副委員長 加藤ゆうすけ
松岡和行、田辺昭人、長谷川昇、嘉山淳平、二見英一、大村洋子、木下義裕、杉田 惺

おりますが、生涯にわたる健康保持には今回の条例にあります歯や口腔のケアを欠かすことができません。80歳になっても自分の歯を20本以上保つための取り組みである「8020運動」を推進するとともに、乳幼児期、学齢期、妊娠期、成人期、高齢期などのそれぞれの「ライフステージ」の特性に応じた歯及び口腔の健康づくりを推進することをあわせて、条例に反映させました。

条例施行にあたり市民の皆様にも広く周知が進むよう取り組んでまいります。



4月及び6月臨時議会・令和2年招集議会・6月定例議会 審議結果

○=賛成、×=反対、-=棄権

賛否が分かれた議案	会派				無党派					
	自由民主党	よこすか未来会議	公明党	日本共産党	木下義裕	小林伸行	小室卓重	杉田 惺	はまのまさひろ	藤野英明
	12人	12人	7人	3人						
議会議員の議員報酬等に関する条例中改正について	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
令和2年度横須賀市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
訴えの提起について	○	○	○	×	○	×	×	○	○	×
令和2年度横須賀市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×
都市公園条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×
建築基準条例中改正について	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×
教育委員会教育長選任について	○	○	○	○	○	-	×	○	○	×

* その他議案29件については、全会一致で可決または同意しました。詳細は市議会ホームページにも掲載しておりますので、ご覧ください。

* 議長は、議事を取り仕切る立場から、採決には加わりません。

会派所属議員名 令和2年6月25日現在

- 自由民主党** 大野忠之 西郷宗範 青木哲正 青木秀介 田辺昭人 松岡和行 加藤真道 渡辺光一 南まさみ 山本けんじゅ 田中洋次郎 大貫次郎
- よこすか未来会議** 伊関功滋 永井真人 小幡沙央里 加藤ゆうすけ 嘉山淳平 工藤昭四郎 高橋英昭 竹岡 力 角井 基 長谷川昇 葉山なおし 堀りょういち
- 公明党** 板橋 衛(議長) 土田弘之宣 石山 満 関沢敏行 本石篤志 二見英一 川本 伸
- 日本共産党** 大村洋子 ねぎしかずこ 井坂 直

請願・陳情


	件名	結果
請願	教職員定数改善の推進及び教育予算の拡充を求める意見書の提出について	採択(意見書案提出)
陳情	別居・離婚後の面会交流という表現を親子交流へ変更することを求める意見書の提出について	審査終了
	学校教育における新型コロナウイルス感染症対策の充実に向けた財政支援の拡充を求める意見書の提出について	趣旨了承(意見書案提出)
	第一線医療の医療崩壊を防ぐため医療機関への支援策を充実し迅速に対応することについて	審査終了

「審査終了」とは、委員の意見が一致しないなど委員会としての結論が出せずに審査を終えた場合を言います。

意見書

件名	結果
教職員定数改善の推進及び教育予算の拡充を求める意見書の提出について	可決(全会一致)
学校教育における新型コロナウイルス感染症対策の充実に向けた財政支援の拡充を求める意見書の提出について	可決(全会一致)
地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	可決(全会一致)

編集後記



今号より新たな広報広聴会議メンバーで市議会だよりをお送りしています。市議会の現状をわかりやすく伝え、多くのみなさんに関心を持ってもらえるよう、編集員全員で創意工夫を重ね頑張ってまいります。引き続きのご愛読をよろしくお願いいたします。

編集：広報広聴会議(◎=委員長、○=副委員長)
 後列左から 大貫次郎/青木秀介/加藤真道/高橋英昭/山本けんじゅ/堀りょういち/川本伸/小林伸行/井坂直
 前列左から ◎嘉山淳平/○石山満

令和2年9月定例議会の予定

開催日	会議名
8月28日(金)	議会運営委員会
8月31日(月)	本会議、予算決算常任委員会(本会議終了後)
9月3日(木)	教育福祉常任委員会(予算決算分科会) 都市整備常任委員会(予算決算分科会)
9月7日(月)	総務常任委員会(予算決算分科会) 生活環境常任委員会(予算決算分科会)
9月9日(水)	基本構想・基本計画策定特別委員会
9月11日(金)	予算決算理事会、予算決算常任委員会(11時)
9月15日(火)	議会運営委員会
9月16日(水)	本会議、予算決算常任委員会(本会議終了後)
9月23日(水)	予算決算分科会(教育福祉、都市整備)
9月24日(木)	予算決算分科会(総務、生活環境)
9月25日(金)	予算決算分科会(教育福祉、都市整備)
9月28日(月)	予算決算分科会(総務、生活環境)
10月2日(金)	予算決算理事会、予算決算常任委員会(11時)
10月6日(火)	議会運営委員会、本会議(14時)



- * 9月1日(火)・4日(金)・8日(火)・10日(木)・14日(月)・17日(木)・29日(火)・30日(水)・10月5日(月)は予備日です。
- * インターネット中継もご覧になれます。(本会議は手話通訳も同時に行っています。)
- * 時間の記載がないものは10時開会。開会日時は変更される場合があります。
- * 傍聴のご案内など最新の状況は市議会HPが議事課でご確認ください。

横須賀市議会公式ツイッター始めました

横須賀市議会では市民の皆さんに市議会の取り組みをより身近に感じてもらう、また市議会の情報を迅速にお届けするために、インターネット環境の中での広がり早いSNSといわれる伝達方法のひとつとして、このたびツイッターを利用した「横須賀市議会公式ツイッター」を6月2日に開設いたしました。

これにより委員会等の開催日程、市議会インターネット中継へのアクセスも容易になりましたので、ツイッターをされている方はぜひフォローをお願いいたします。

今後は各委員会報告や審議結果など、横須賀市議会の様々な活動を皆さんに発信していきたいと思っております。

横須賀市議会公式ツイッターはこちらから!